

番号	事業計画案に対する意見	本市の考え方
1	【幼稚園関係】3歳児の受入れについて	
	第1期計画において、市立幼稚園での3歳児の受け入れについて、2019年度に10園となったものの、園域別でみると2つの園域で確保ができていない状況や、定員を上回る入園申込みがあった場合には抽選となり、入園ができない子どもがいるため、第2期計画においても、確保ができていない2園域内に立地する市立幼稚園で3歳児の受入れを行ってください。	「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」が策定され、再編の進捗状況や10園での申し込み状況を考慮して、今後、検討します。
	今後5年間の確保方策として、市立幼稚園の3歳児の受入れ園の拡充をしてください。	
2	【保育所関係】待機児童の解消について	
	第1期計画において「1・2歳児は、申込者数が見込みを上回る状況で推移したため、依然大きな不足が認められます。」との記載がありますが、第1期で希望する児童が全て入所出来なかった具体的な理由について、教えてください。	計画期間中に児童数が減少していますが、就労する保護者の増加などにより保育ニーズが拡大した利用定員を上回ったためと考えています。
3	【教育・保育関係】教育・保育提供区域について	
	6園域での教育・保育提供区域となっていますが、最低でも子ども達が歩き、高齢者（祖父祖母）がお迎えに行ける範囲の2次生活圏の11園域とし、老若男女にきめ細やかな教育・保育提供区域の設定としてください。	第1期の計画から教育・保育提供区域を6園域として設定し、ニーズ調査の実施、ニーズ量や確保量を算出していますので、6園域を提供区域とさせていただきます。
	6地域は保育の提供の観点からは広過ぎる。徒歩（乳母車）や自転車で祖父母が送迎にかかわれる環境であってこそ、3世代が共生できる地域の実現が図れると考える。	
4	【教育・保育関係】待機児童の解消について	
	第1期計画において「3歳児でも改善を図りました」との記載がありますが、希望する児童が全て入所できた訳では無いため、第2期計画では、市立保育所以外の市立施設である市立幼稚園を活用して、3歳児の待機児童の解消を行ってください。	「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」が策定され、再編の進捗状況や市立幼稚園の教室数などの施設面、開園時間延長に伴う職員配置や確保の検討をする必要があります。
	小規模保育事業（民間園）の3歳児以降の子どもの受入れを市立幼稚園とする事で、公民連携し、待機児童の解消を行ってください。	
	小規模保育事業所（A型）の新設に当たっては、3歳到達後に入所可能な連携施設については、全ての市立幼稚園で3歳児の受入れを実施して、確保方策としてください。	「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」が策定され、再編の進捗状況や申し込み状況等を考慮して、園域ごとの保育ニーズに対応できるよう今後検討します。
	6園域ごとに待機児童を無くす計画とし、希望する児童が全て入所できるようにしてください。	
	幼稚園・保育所・学童保育をはじめ、岸和田のすべての子どもが等しく教育や保育を受けることができる環境づくりを進めてください。現在も地域によっては施設に入れず、待機となっている子どもたちがいます。計画によると、子どもの減少とともに経年的に待機児童が減っていくことになっています。しかし、待機は「いま」目の前で発生しています。一刻も早く、受入施設の増設や職員の確保を行ってください。	幼稚園の小規模化や保育所の待機児童解消を図り、子どもたち・保護者にとってより良い教育・保育環境の充実を図ることを第一の目的に策定しました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」に基づきまして、再編を推進してまいります。
5	【教育・保育関係】認定こども園について	
	確保方策の認定こども園については、市内の社会福祉法人で行ってください。株式会社の参入はやめてください。	認定こども園の運営は、社会福祉法人もしくは学校法人と考えています。

番号	事業計画案に対する意見	本市の考え方
6	【教育・保育関係】要支援児童について	
	市立施設 11 ヶ所と民間施設 5 ヶ所の負担軽減策として、民営化園を除く民間園（認定こども園等）に発達支援対象児童の入所をさせる事を第 2 期計画に盛り込んでください。	保育を必要とする量の見込みに対する確保について計画します。支援対象児童については必要な教育・保育を提供できるよう環境整備を図っていきます。
	民営化園を除く民間園（認定こども園等）に発達支援対象児童の入所対策として、補助金や助成金などを民間施設へ支出するなど制度を第 2 期計画に盛り込んでください。	
	発達支援対象児童について、民間施設 5 ヶ所より、市立施設の入所割合等が多い場合は、市が策定を予定する市立幼稚園及び保育所の再編計画を盛り込まず、必要な市立施設は存続してください。	幼稚園の小規模化や保育所の待機児童解消を図り、子どもたち・保護者にとってより良い教育・保育環境の充実を図ることを第一の目的に策定しました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」に基づきまして、再編を推進してまいります。
	発達支援対象児童について、市立施設 11 ヶ所と民間施設 5 ヶ所の市立と民間別の数字を示してください。	対象児童数は年次により変動します。入所児童の概ね 4 %を目安に対象児童を受け入れています。
	発達支援対象児童について、民間施設 5 ヶ所より、市立施設の入所割合等が多い場合は、民間施設 5 ヶ所に適切に入所させる市の責務があると考えます。補助金や助成金などを民間施設へ出資する制度を第 2 期計画に盛り込んでください。	
7	【再編計画関係】再編計画について	
	今後 5 年間の確保方針について、市が策定を予定する市立幼稚園及び保育所の再編計画の実施をするのはやめてください。反対です。	幼稚園の小規模化や保育所の待機児童解消を図り、子どもたち・保護者にとってより良い教育・保育環境の充実を図ることを第一の目的に策定しました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」に基づきまして再編を推進し、進捗に合わせて見直しを行います。
	確保方策の認定こども園については、市が策定を予定する市立幼稚園及び保育所の再編計画を盛り込まずに実施してください。	
	今後 5 年間の確保方針について、市が策定を予定する市立幼稚園及び保育所の再編計画の実施を行わなくても、既存の市立幼稚園の 3 歳児の拡充で確保可能です。	幼稚園の小規模化や保育所の待機児童解消を図り、子どもたち・保護者にとってより良い教育・保育環境の充実を図ることを第一の目的に策定しました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」に基づきまして、再編を推進してまいります。
	岸和田市立の幼児教育・保育は、子どもを主人公にした素晴らしい保育・教育が行われていると思います。学校ごとにある幼稚園は、幼ない子どもが歩いて通える本当に身近な親しみのある施設です。幼ない子どもの成長を豊かに育み育てる責任は市にあると思います。子どもの全面発達を促す教育のために、教師の給料を上げることが大事だと思います。一時預り事業に幼稚園は非常に貢献していると思いますので幼稚園をなくさないで下さい。	
	幼保再編方針が発表されている。安心して子どもを預けるために、民間、公立、幼稚園、保育所、認定こども園と保護者が選択できる多様な施設が存在することが大切である。	
	待機児童が多いならば、保育所を建設して下さい。認定こども園にするならば、民間ではなく、市が責任を持って、岸和田市立こども園にして下さい。	市立施設については、当面、民間園と共存を図りながら、今後の就学前児童数、待機児童数、また国や大阪府の動向といった社会情勢をはじめ、今後進める認定こども園化及び民間活力の導入状況の効果検証を行いながら、引き続き、そのあり方について検討します。

番号	事業計画案に対する意見	本市の考え方
	子どもが少なくなってきた今こそ、幼ない子どもを競争にさらすのではなく、どの子ども伸び伸びと温かく育み育てる岸和田市にすることが求められていると思います。	子どもたち・保護者にとってより良い教育・保育環境の充実を図ることを第一の目的に策定しました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」に基づきまして、再編を推進してまいります。
	公立の保育園・幼稚園は残して下さい。命にかかわります。	市立施設については、当面、民間園と共存を図りながら、今後の就学前児童数、待機児童数、また国や大阪府の動向といった社会情勢をはじめ、今後進める認定こども園化及び民間活力の導入状況の効果検証を行いながら、引き続き、そのあり方について検討します。
	教育・保育（保育所等）の確保について、不足は基本的に民間でおこなう計画になっていますが、計画通りに民間が増えないことも考えられます。計画通りに進まなかった場合は市が責任をもって、新しい保育所か何かで受入をするべきではないでしょうか。また、他市の民間での保育園運営のなかで「経営破綻」する事業者もあります。そういったことがあった場合、市はどのように対応するのですか。	幼稚園の小規模化や保育所の待機児童解消を図り、子どもたち・保護者にとってより良い教育・保育環境の充実を図ることを第一の目的に策定しました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編計画」に基づきまして、再編を推進してまいります。また、公募の際の民間事業者の選定には、教育・保育や財務等の有識者で構成した選定委員会により良い民間事業者の選定に努めてまいります。
8	【地域子ども・子育て支援事業】一時預かりについて	
	1月7日に一時保育の予約のTEL（桜台）したら、1月30日にしか予約とれず。どこに預けたらいいんですか？自転車のお母さんは行けません。通園も必死なんです。核家族多いのに。	桜台保育所、やまだ保育園で一時預かりを実施しているほか、他の市立保育所や民間保育施設の一部で一時預かりを行っています。今後の利用状況を踏まえて取組の拡充を検討します。
9	【地域子ども・子育て支援事業】一時預かり・病児保育について	
	乳幼児期の保育・教育の施設を増やして、0・1・2才の待機児童をなくすことで女性の就労が進み、岸和田市の経済の活性化につながります。特に現在は1園になってしまっている病児保育を6地域のすべての地域で行って欲しい。出産や保護者の病気の時などの一時保育も同様に増やして欲しい。それを実現するには施設だけでなく、そこで働く市職員の待遇を改善する必要がある。子どもに優しい行政は職員にも優しいことが必要条件だと思う。	病児保育、一時預かりについては、今後の利用状況を踏まえて取組の拡充を検討します。
10	【地域子ども・子育て支援事業】チビッコホームについて	
	放課後児童クラブについて、計画の段階で待機児童が発生するだろう校区は明らかです。放課後児童クラブは低学年の利用が中心で、ひとりで子どもを留守番させることを不安に感じている保護者のより所であり、子どもたちが保護者のいない放課後を安心・安全に過ごすための場所です。2年生から待機児童が発生している校区もあり、子どもたちの安全を考えると待ったなしの状況です。有効であるさまざまな手法を駆使して、一刻も早い待機児童の受入をお願いします。	計画案の中で示されている「量の見込み」及び実際の待機児童数等により、順次、小学校の余裕教室等が活用できるところからチビッコホームを開設していき、利用希望者の受入れ量の確保に努めてまいります。
	学齢期の子育ての安心のためにチビッコホームの拡充はかせない。児童が放課後を過ごせるようにチビッコの各教室の定員を40人以下に戻し、教室の数を増やして環境を良くして欲しい。	現在、待機児童対策として通年開設しているチビッコホームは、暫定的に定員を50人としております。今後も待機児童解消に努めてまいります。

番号	事業計画案に対する意見	本市の考え方
11	【その他】	
	保育士さんが足りないのは、非常に精神的・肉体的に重労働であるにもかかわらず、低賃金だからだと思います。是非、保育士さん、幼稚園の先生の給料を上げてください。	市立施設に勤務する保育士、幼稚園教諭には条例に基づき報酬が支給されています。
	和泉市の友人に岸和田はいつでも遊びに行ける場所が無いと言われショックでした。児童館が必要です（土日も）。	公民館は、社会教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）を実現する場として設置されています。 令和元年度の事業も昨年度に引き続き、市内公民館及び青少年会館すべての施設に、子ども対象の定期講座や短期講座が開催されています。 また、子どもたちの自習や読書で施設を開放している公民館及び青少年会館もございます。館によっては、夏休みの期間中に自習室として開放している館もございます。
	公民館の保育室を月～日までオープンして下さい。	近年、核家族化が進み、地域の人々との関わりが希薄になることで、親が孤立し、子育てに支障をきたすような社会問題が顕在化しています。そのため育児不安や育児ストレスの大きな未歩行児の親を対象にその緩和のために市立公民館・中央地区公民館では毎月第1木曜日、光明地区公民館では毎月第1金曜日「あかちゃんサロン」を開催しています。 また、拠点館（市民センター）では児童保育室を開放し、交流の場として「キッズルームを開催しています。保護者同士の情報交換や育児についての助言をするために、公民館登録保育者をキッズルームアドバイザー（先輩ママ）として配置しています。
	このままでは若い人がどんどん減ります。高齢者を支えられません。子育て支援（岸和田にしかない）にもっと注力して下さい。	子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援施策を進めてまいります。
	岸和田市が子育てしやすい市であれば、子育て世代の人口が増加していくと考え、子育て支援事業を充実させて下さい。	
	子どもの養育を保育所・学校の場のみに任せず、もっと地域住民の力を借りるべきです（定年後に役割を失った年代の方がたくさんいます。誰もが誰かの役に立ちたいと考えているはず。）	貴重なご意見ありがとうございます。本市の今後の施策の参考にさせていただきます。
	子どもと高齢者が日常的に交流する場がないと、将来の日本を支える人が老人を知らないまま大人になります。	